

# 調査研究部報告書情報シート

記入年月日: 2017年10月18日

情報No.	S-17-2	情報区分	プラ循環協調査報告
-------	--------	------	-----------

題名 報告書名	2017年度 フロー図調査報告書 (需要分野別製品排出モデルの見直し)				
報告年月	2017年10月	ページ数	52	著者・出版元	プラ循環協

【キーワード】

処理方式		要素技術	
樹脂類別		化学物質名	
形状別		用途別	
法規制		国別	日本

調査研究内容	<p>【調査の背景と目的】</p> <p>当協会ではマテリアルフロー図を 1996 年より 20 年間継続して公表している。マテリアルフロー図における排出段階の推計では、1976 年以降の各年の 13 の需要分野別の「国内樹脂投入量」に、「需要分野別製品排出モデル」を適用して、13 の需要分野別に各年の「使用済製品排出量」を計算して積算している。</p> <p>しかし、現・需要分野別製品排出モデルを作成してから 20 年以上が経過し、最近の実態と合っていない可能性がある。</p> <p>フロー図の精度向上を図るために、最新の情報を基に新・需要分野別製品排出モデルを作成する。また一般系廃棄物／産業系廃棄物比率についても新たに策定する。</p> <p>【調査の概要】</p> <p>①樹脂製品の排出実態や寿命データに関して、業界団体や企業、学識者を訪問し、ヒヤリング調査を行った。また、公表されている報告書や文献等より情報を収集・整理した。</p> <p>②樹脂製品別に樹脂の使用量を推定した。また、①で調査した寿命データも併せて整理した。</p> <p>③新・需要分野別製品モデルを作成するための準備作業として、需要分野毎に樹脂製品の寿命分類を行った。</p> <p>④①～③で得られた情報を基に、新・需要分野別製品モデルを作成した。</p> <p>⑤新・需要分野別製品モデルの適用方法等について、検討した。</p> <p>⑥新・一般系廃棄物／産業系廃棄物比率を定め、適用方法等について検討した。</p>
	調査結果
備考	